

# 市長と語ろう住民懇談会

## 第1回 テーマ「人口減少社会とこれからの三沢市」

日 時：平成27年11月6日(金)18:00~19:30

場 所：三沢市役所4階 大会議室

参加者：市外から転入し概ね20年未満の市民 9名



1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 出席者紹介

三沢市

市長、副市長、政策財政部長、民生部長、健康福祉部長、経済部長

参加者

	三沢市在住年数	職 業 等
1	19年	団体職員
2	12年	児童館勤務・教育支援ボランティア活動
3	16年	無職
4	12年	専業主婦
5	8年	自衛官
6	5年	食育インストラクター・教育支援ボランティア
7	18年	会社員
8	4年	会社員
9	2年半	会社員

4. 懇談

① 若者の雇用の場が不足していると思うが、市としての考えを伺いたい。

参加者	<p>仕事柄雇用を作るという使命をもって仕事をしています。三沢市内で新たな雇用を創ってそこへ就業していただけるような取組をやっています。</p> <p>しかし、結果として就職者はいますが、なかなか新たな雇用を生むというところまで到達できていないという状況です。そういった中で感じる所は、若い方に限って言うと雇用の場が三沢市内と言えども充足してないのではないのでしょうか。若い方が住んで安定した収入を得て安心して子育てをしないと人口減少社会というのは解消の方向に向かわないのではないかと考えております。</p> <p>先ほどお話のあった六ヶ所の方では幼稚園がまだおありではない、そういったところは三沢市にはある訳なので、しかし、若い方が定着してという所まではまだ弱い感じがします。そこについて、市長さんの方から政策としてこんな事を考えているという事があれば教えていただきたいと思えます。</p>
市長	<p>若い方の職場、雇用の場は大事な事です。最終的にはそういう方向を目指しています。企業のリストも様々あります。しかし好きな仕事がないというのが課題ではないかと思えます。どういう職に就いたらいいのかなど、そういう面では様々セミナーをやり、社員の養成というものもやっていますが、企業の誘致が一番だと思えます。三沢市ではそういう場所があると</p>

	<p>思いますが、自分で好きな職場がないのか、企業を回ってみますと三沢の応募者が少ないと言われます。PRが足りないのか、いろいろ原因があると思いますので、若い方が目指しているものをしっかり分析していきたいです。訓練の場は様々つくっていますが、担当部長から紹介してもらいましょう。</p>
経済部長	<p>まず、ひとつ実際にやってきたものとして、平成23・24年に若年者就業支援実務体験事業を行っています。これはどういう事業かと言うと、離就職の若年者が希望する事業者や企業の受け入れ可能なところを調整しながら実際に就労してもらいます。その中で、就労に向けていくという形で行ったものです。2年間で雇用者が54人おります。これに対しての協力企業が24社ありました。</p> <p>また、その後は緊急雇用対策でふるさと雇用という事で事業をやりましたが、これらにおいては、平成21年から23年に4事業行い42人就職しております。緊急雇用については平成21年から27年の7年間やっておりますが、44事業やり延べ335人が就業しております。ただ、その後まで続くというところがどのくらいあったのかというと、1割程度でなかなか続かない状態です。</p> <p>たとえば一昨年の数値ですが高卒で就職する方が管内で109名おりました。その方々は、5月までに希望した全員が県内に就職しております。ですがこの方々が定着するのは青森県の場合非常に少ないです。3年間で辞めてしまう離職率が全国で1番だそうです。原因は、はっきりとつかめておりませんが、調査したところ、給料の不満。もう一つは、辞める方の傾向として研修が少ない。要するにそこで働いていて自分が成長しているという実感がなく、というこの二つが大きな理由ではないのかと分析の中で出ております。</p> <p>ですから企業に対しての三沢市からの今後の課題としては、将来に夢を持てる様な形、生活維持が十分やっていける様な形、やりがいを持てる様な形をどのようにやっていったらいいのか。セミナー等に関しては、各企業でできない場合は雇用対策協議会で行っているセミナーを通じて、それぞれのところで満足・成長できる様な形をとっていただくと考えております。</p>
参加者	<p>ありがとうございました。大変参考になるお話で、実績もかなり出ているんだなと理解できました。</p>

② 観光事業で若者の雇用の場を作る試みを提案する。

航空科学館を全面に出した PR をお願いしたい。

参加者	<p>続けてもう一つ伺いたい事があるんですが、就業継続中が 10%くらいだという事ですが緊急雇用の方も効果が認められていてもその後というのは不透明というか分析ができてないというお話がありました。</p> <p>私が今やらせていただいている事業の中で、こちらのセミナーをやるだけでなく勉強もさせていただいているんですが、他県では着地型の観光であったり、ニューツーリズムと言われるもの、その辺をうまく利用して若年層の雇用をつくって定着させていくという試みが成功事例として半分、反面半分は当然失敗事例となっています。うまくいっている所とそうでない所、私自身勉強不足でどの辺がネックなのかわかっていないのですが、できたら今後の政策として三沢市においてのニューツーリズム、観光事業で若年層の雇用をつくっていくという試みを検討の片隅においていただければと提言させていただいて、終わりにしたいと思います。ありがとうございました。</p>
市長	<p>三沢も結構、観光資源・文化資源もあるのでうまく利用してそういう方向ができればいいなという気がします。いい方法があればと思います。</p>
参加者	<p>よろしくお願いします。蛇足ですが、航空科学館は国内最大規模という事で我々は認識していますが、以外に関西に行くと全くそういった話が聞こえてこないです。実は京都で観光の仕事をしていましたが、三沢の航空科学館というのを京都市内で一度も聞いたことがありません。なので、東京の人はともかくとして、関西方面へのPRが少し足りないのではないかと思います。</p> <p>うちのセミナーで名古屋の犬山市の先生に来てもらいましたが、隣の岐阜市に各務原の基地がありまして、航空機の爆音がして飛行機がおなじみな所でそういう施設もあるそうです。ただ、その方が航空科学館を見た瞬間に「これはすごい。」と驚くくらいなので、もっと航空科学館を前面に出したPR活動は今私がやっている事業の中では、期待が持てるのかなと感じています。ぜひ、市長のお力でPRをお願いします。以上です。</p>
市長	<p>観光の商品として、そういうルートを考えながら検討が必要ですね。</p>

③ 子供たちが自由に遊び体験できる体験型の施設が増えたら楽しいと思う。

参加者

私は、先ほどのお話を聞いて思い出したんですが、先日青森の農家をしているお宅で収穫祭があり餅つきをしてきました。そこへ3歳の女の子に、「お餅を早く掘りに行こう」と言われました。この子はお餅をつくというのではなく、お餅を掘らないと出てこないと思っていた様で、グリーンツーリズムではないですが、ちゃんと次世代の子ども達に農作物は何かからできていてあなた達の口に入るものはこういった物でできているという事をきちんと教えていかないと、スーパーに並んでる物だけが自分たちの食べ物だと思われたら困るなと思います。

私は浜の方の児童館におりますので、親御さん達がよくゴボウやにんにくやニンジン等を食べきれないくらい持って来て下さいます。農産物に関するグリーンツーリズムがもっと盛んになっていってもいいのではと思います。

以前、私は歴史民俗資料館で津波の「震災の記憶」をつくる作業を4ヶ月間した事があるんですが、漁港の復興の様子等を間近で拝見して来ました。自分は都会育ちなものですから、農業・漁業、いろんな事を学ぶ場所、子供たちに伝えていける場所、自分の故郷が三沢になって良かったと思っています。故郷が二つあるという感じがしています。

仏沼や小川原湖、観光資源になるものがたくさんあると思います。主人が県外に単身赴任しているのですが、こちらに戻って来るとパラグライダーやカヌーをしています。キャンプにもよく家族で出掛けたりします。子供たちを自然に身近に触れさせる事のできる環境っていうのが、なかなかないので、都会育ちの自分にとっては、子供を育てる環境にはとてもいい環境だと思っています。三沢市は本当に良い所だと思います。

先日、三沢商業が甲子園出場しましたが、初戦で私の故郷の埼玉県とあたりまして、どちらを応援しようか迷ったんですが、三沢商業を応援しました。負けてしまいましたが、たとえば甲子園に出場した高校を2校応援できるのは、自分の故郷が増えるという意味でうれしいです。

提言といたしましては、もう少し子供たちが自由に遊べたり、体験を出来たりする場所が増えたら楽しいのではないかと思います。低学年の子供たちに航空科学館を利用してもらうとか、仏沼で体験してもらうとかいろんな形で体験型の施設があると楽しいかと思います。

市長

大変、ありがたいご意見をいただきました。生涯教育が大事だなと感じております。結構、三沢でも仕事に学び、人に学びという様な事も行って

おりまして、人気があるんですが、グリーンツーリズムも行っております。

特に三沢に来る高校生は進学校ですが農家を体験したいと自分で選んで来るそうです。その場で収穫してすぐ食べるので、鮮度がよくその場で食べるという田舎の良さというものがPR出来たと思っています。

幅を広げて、体験の場をつくっていかなければならない。ピーナッツを植えたらどこに実がなるのか。土になるのを知らないという話もあります。当市では社会科の教材に三沢の特産物を掲載して作っており、それは、結構役に立っていると思います。大変、貴重なお話ありがとうございました。

④ 三沢市にたくさん特産物があるので子供たちに味覚教育をしながら食糧の事に関しても発信できる様な取り組みをしていきたい。

<p>参加者</p>	<p>食育インストラクターの勉強で服部栄養専門学校の服部先生のところへ行きました。その中で、世界の人口は増え続けているのに、日本は食糧の60%以上を輸入に頼っていることで世界の人口が増え続けると日本に輸入される食糧が入ってこなくなるという事で、これから日本は自給率を上げなければならないと聞きました。それでは三沢はどうなのかというところで書かせいただきました。その後、青森県の自給率を調べたところ平成24年、25年ともに118%で100%を超えているので、三沢市もたくさん特産物があるので子供たちに味覚教育をしながら食糧の事に関しても発信していける様な取り組みができればいいなと思いました。また、子供の味覚は、だいたい8～9歳くらいで大人と同じくらいの味覚を感じられるので、この辺りに一度子供たちにそういう教育をする機会を与えられるといいなと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>自給率の問題ですが、実は計算をしたことはないのですが、おいらせ農協の出荷量に限り計算をしたようで、確かな数字ではないだろうと思います。それによりますと61%ですが、おそらく100%は超えていると思います。生産量から言いますと300%以上ですのでこれは文句がないです。青森県は何でもあり、畜産物・果樹・野菜・水産物があり、知事が言うには青森県はバランスが取れていると言われています。三沢は、果樹はありませんが、卵・肉など何でもあり、そういう問題については全国に誇れるのではないのでしょうか。青森県は、食糧自給率の問題は、6県の中ではトップです。生産量も一番です。これは、統計上出ているものです。ただ、味覚の問題はなかなか難しい話です。</p>
<p>参加者</p>	<p>寒いとどうしても塩分が多くなります。先日知事もおっしゃっていましたがもともとの伝統食、例えば漬物等は味を変えられるものではないので、塩分を薄くするような別の物を食べる運動をしていこうというお話をされたそうです。</p>
<p>市長</p>	<p>どうしても塩分を取ってしまいます。今日は実は、食生活改善推進委員会で料理をいただきました。500未満のカロリーでしたが結構ボリュームもあり驚きました。工夫することによって、お腹もいっぱいになり検討の余地があると思いました。短命県という事で、11月21日に健康フェアを行いますので皆さんも参加していただければと思います。</p>

⑤ 防災無線が聞取りにくい。ラジオの電波の調子が悪い。

<p>参加者</p>	<p>今、至る所に防災無線があり聞こえてくると思いますが、実は私が三沢に来た時は、道路がまだきちんと整備されていませんでした。今は綺麗に整備され、交通量が多くなりました。今住んでいる泉町は、市立三沢病院も移転されすごく便利なところですが交通量が多いので、防災無線が聞こえにくい様です。防災訓練の時も何を放送しているのか聞き取りにくかったです。費用がかかる事だとは思いますが、防災意識を高める為にはある程度の防災無線の増設をしていただければ、災害があった時に周知が徹底できるのではないのでしょうか。</p> <p>それに合わせて、ラジオの電波ですが聞こえにくいです。車で走行中はまだ聞こえるのですが、自宅付近になると雑音が入ります。途中から電波の調子が悪くなる感じで、これはしょうがないのかと思っていましたが、災害があった時には、テレビが見れない場合は情報源はラジオになると思います。今は、携帯電話もあると思いますが、お年寄りがどんな状況かという情報を得るにはラジオが適しているのではないのでしょうか。その辺のところを含めて聞きやすくなればいいかなと思い、提言させていただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>防災無線については、聞こえないとかご意見がありました。向きが悪くて通らない等あって、その後いろいろ調査をして、増設やスピーカーの向きを変えてみました。建物や風向きにより、なかなか聞こえない事もあるようです。泉町は、防災無線がなかったか？</p>
<p>政策財政部長</p>	<p>ご自宅から見て南東の方向にスピーカーがあります。平成24年度に市内全域の音響調査をしまして、当初68カ所についていたスピーカーを36カ所増やしています。角度調整等もしました。ご自宅の北西の交差点にあるスピーカーは、外にいてぎりぎり聞こえるという調査結果になっています。スピーカーがご自宅に向いているのですが、距離が一番遠い位置になり、風向きにより聞こえにくくなるようです。平成25年度には角度調整等の音響調査を終了しています。天気のいい日には、外では聞こえる状況ですが、先ほどお話した通り、車の雑音や風向きで聞こえにくい場合もあるという事です。</p> <p>ラジオの件ですが、基地による聞こえにくい事があるのではないかという事で、防衛省で調査してもらいました。その結果、基地による受信障害はありませんでした。町内会長さんから申し出のあった聞こえにくい市内5カ所を、NHKに調査してもらいましたが受信障害はなかったのです。</p>



	<p>が、建物があることや、無線装置がある等個別の問題があるようです。NHKの方では、個別に受信に関する技術相談窓口で対応したいので、役所に問い合わせさせていただくと役所の方でそちらの窓口をご案内します。懇談会終了後、窓口をご案内します。</p>
市長	<p>この問題については、さまざまご意見がありまして、防音工事をしている家庭では家にいるとまったく聞こえないというのもありました。</p> <p>ラジオの問題は、何回かそういう意見があり、調査しました。なかなか原因が出てこないという事です。個人的な原因があるのかと思います。</p>

<p><b>⑥ イベントが多く楽しいが、告知が徹底されていないのではないかな。</b></p> <p><b>冬場子供を遊ばせられる施設を三沢にも期待する。</b></p>	
参加者	<p>三沢市は、イベントが多くてとても楽しいと思っています。最近ですと、小川原湖周辺を歩く市民ウォーク、ハロウィン、今は子供がアイスアリーナのスケート教室に行っています。</p> <p>とても残念なのが、告知が徹底されていないと言いますか、同じメンバーだったり、すばらしいイベントなのに参加人数が少なかったりしています。問い合わせをした時に対応が悪かった時もありました。</p> <p>あとは、冬場子供を遊ばせる場所がないという事です。県外だと、屋外屋内で無料で遊べる施設が最近多いので、三沢にもそれを期待したいと思います。</p>
市長	<p>子供たちの今計画中の「子ども館」が出来ればダイナミックな遊びができるのかなと思っています。今は、子育てサロンも満杯と聞いています。不自由をおかけしているのかと思います。もう少しお待ちいただきたいと思っています。</p>
経済部長	<p>いろいろなイベントが次から次へとあるので、若干徹底しないイベントもあるのではないかと思います。反省しながらより多くの方々に来ていただき楽しんでいただけるような形にしますのでご理解いただきたいと思っています。</p>

⑦ 医療費の補助が出来れば隣町への人口減少の歯止めになるのではないか。

三沢を私たちが好きになろうという政策でいい街になるのではないか。

親の教育も含め、素晴らしい子供が育つ教育政策ができればいいのではないか。

参加者

楽しいイベントがたくさんあると思います。やる側としても告知が非常に労力を要する所なので、行政と主催者側が協力して、市内・市外に告知をしていけばより多くの方々に来ていただけたと思いますので、これからもよろしくお願いします。

テーマが「人口減少社会とこれからの三沢市」という事ですので、人口減少をどうやって止めようかと考えた時に、やっぱり結婚してここに住んでもらうのが一番かなと思っています。安心して子供ができる環境、公園があつたり、幼稚園・保育園があつたり、箱物について三沢市は、非常にいい環境だと感じています。

現状として、他にもいろんな意見があるかとは思いますが、三沢にいて結婚しておいらせ町や六戸町に住んだりするなど、その人口の減少を考えないともったいないなと思います。土地の価格が安い等の問題もあるかと思いますが、医療費の補助が出来れば歯止めになるのではないかというのが提言の一つです。

あと、いろんなイベントが三沢市はあつて楽しいというところがあるんですが、外から来る人が楽しいと思うのはその日だけで終わるんです。三沢の人が心から楽しめて三沢のことを好きになって、三沢を盛り上げていこうと思えばそれがいろんなイベントに繋がって、それが市外・県外に広がっていけば、三沢に来る人が増える。来た人が三沢に住んでる人も楽しそうだし、環境も良いしという風になれば、定住する人も増えるのではないのでしょうか。三沢を私たちが好きになりましようというところで政策をやっていけばいい街になるのかなと思います。

その為にはキャリア教育・幼児教育、例えば教育も今の若い子たちは「訳がわからない・とっつきにくい・すぐ仕事を辞めてしまう」等印象もありますが、夢や希望を持って一生懸命やる若者は今も昔も持っている物は変わりません。本来持っている子供たちの良いところ、目標を持たせるようなキャリア教育を進めていけば、三沢の子供たちは夢を持っているよねという事が広がればまた三沢に住んで子供を生活させたいという種になるのではないのでしょうか。子供の小さい時からの教育や親の教育も含めて、教育の政策、三沢に子供をおけばすばらしい子供になるよという様なものを

	<p>やっしていければと思います。私は男女共同参画の方も少しお手伝いさせていただいているので、親の教育も合わせながら進めていければと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>なかなか定住化というのは、仕事場・教育の問題・宅地の価格等絡む訳ですので、企業誘致しても六戸とかおいらせ町に住むというのが現実にある訳です。三沢市もニュータウンをつくりまして、これからも進めていきます。おいらせの方に住んだら水が高いとか。学校教育も小中学校では市外から来ている子が100人近くいます。反省もいろいろあるのかと思いますが、相対的にそういうものを三沢の良さをもっともっとPRして定住化してもらいたいと思います。</p> <p>三沢の出生率は六ヶ所村に続いて県下では二番目で、1.79となっています。若い方々の考えていることがなかなか掴みにくい所もあります。</p> <p>去年の11月は、結婚式の案内を5回くらいもらいました。婚活で結婚した方が3組ありました。ですから、そういうのも必要なかと思いましたが、産み・育てるという環境をしっかりと整備しながら、人口減少に歯止めをかけるような努力をしていこうというので、これからもがんばりたいと思います。参考になりました、ありがとうございました。</p>

⑧ 女性の職場を待遇改善していく姿勢を市で示す事が良いと考える。

参加者	<p>私は、労働組合で仕事をしたことがありその観点でお話しさせていただきたいと思います。</p> <p>定着率や人口減少を考える時に離れたくない様な職場を一つでも多くつくっていくという事が大事だと思っています。辞めないでいたいと思える企業が多い方が地域にずっと住むのではないかと考えています。</p> <p>最低賃金を1円上げる事もなかなか難しいと思います。三沢市の定着率が新聞で発表されたのを見ますと、男性は100%を超えています但し女性は約84%となっており、この数字だけ見ますと低そうに思えるのですがそれでも県内ではトップランクの方にあります。女性の定着率は素晴らしいと思っていますが、ただその中に挺入れするとすれば女性の職場に限り待遇改善していく姿勢を市で示していただく事が良いと考えています。</p> <p>たとえば、女性の職場は、あまり良くない事も聞きます。いろいろな人を派遣して待遇改善を図るとか、賃金を上げていくとか、幼稚園・保育園も大学・短大卒で入ってもなかなか定着していない様です。定着している方々については、旦那さんがある程度安定した収入がある方で、三沢市だけではなくどこでもだと思えますが、女性の職場の待遇を改善していった定着につながる政策をしていくと何かが見えてくるのではないかと考えています。</p>
市長	<p>そういう問題になると私自身では出来かねる問題が多いんですが、高い賃金を払うという事は企業そのものが立派にならなければ出来ない事ですので、そういう意味での企業支援も考えられます。何が課題なのか精査して対応をしていかなければと思います。</p>

⑨ 女性の就業促進のためには、男性の家事育児への参加を促すような職場の取組が必要ではないかと思う。

参加者	<p>私からは、雇用の賃金を上げるとか職場環境を良くしましょうという話に補足したいのですが、女性の就業を促進するためには、男性の家事育児への参加を促すような職場の取組が必要ではないかと思っています。育ボスや職場のコミュニケーションの促進のために、父親であることを楽しむことに取り組んでいるファザーリングジャパンを活用して頂きたいと思っています。</p>
-----	--

⑩ 雨の日に遊べる施設がない。

子供の医療費の助成の所得制限を緩和してほしい。

参加者	<p>この懇談会に参加するのに当たり、妻といろいろと話し合いました。すると妻から、三沢市は、公園も多く施設も充実しているのですが、雨の日に遊べる施設がなくてということがありました。</p> <p>また、子どもの医療費の助成について、所得制限がありますが、所得制限を緩和していただくと若い子育て世代にはありがたいと思います。</p>
市長	<p>雨の日も遊べる施設として、子供館の建設を進めておりますので皆様のご要望に沿えるようにしたいと思います。</p> <p>また、医療費の補助の所得制限をなくすのは、財政的に困難な状況にあります。医療機関にかかる機会の多い0歳から3歳については、制度の見直しも考えられると思います。</p>

⑪ 駅・空港がありアクセスが良く住みやすいが、職業の選択肢が少ない。

企業誘致の取組について聞きたい。

参加者	<p>私は、単身赴任で三沢市に来ており、これまで、名古屋や東京、大阪で暮らした経験がありますが、三沢市は、駅も空港もありアクセスがとても良く住みやすいと思います。</p> <p>都会で仕事を辞める人にアクセスがいい、条件がいいと言いたいのですが、職業の選択肢が少ないのです。このようなことから市では、企業の誘致にどのように取り組まれているのでしょうか。</p>
市長	<p>働く場所の確保として、やはり企業の誘致が必要と考えています。今注目されている炭素繊維の企業を誘致しましたが、さらに企業の誘致に取り組んでいきたいと思っています。</p>